

平成30年5月11日

部 等

観光企画課

平成30年ゴールデンウィークにおける主な観光施設等の利用状況について

平成30年ゴールデンウィークに県内の主な観光施設・イベントを訪れた観光客の状況について、次のとおりまとめました。

調査目的 : ゴールデンウィーク期間中の観光客の傾向を調査し、今後の観光振興施策や観光事業関係者の事業展開の参考資料とする。

調査地点 : 県内主要観光施設、市町村イベント等 67地点

集計期間 : 平成30年4月28日(土)～5月6日(日)の9日間

観光客数 : 延べ約142万人(1日当たり15万8千人)
1日当たり: 対前年比2,885人減、1.8%減
前年: 145万人(9日間、1日当たり16万1千人)

1 概況

今年のゴールデンウィークは、低気圧の影響により期間の中頃に雨の日があったため、野外イベントなどで減少がみられるが、日並びは、中2日の平日を挟み3連休と4連休が続く、比較的長期休暇が取りやすい曜日配列となった。

雨天により「風土記の丘・曽根丘陵公園」をはじめ、前年より減少した屋外施設や野外イベントも多く、また、春の気温の上昇により例年よりも花の開花時期が早まったことで、見頃が合わずに客が減少したイベントもみられた。

一方で、「道の駅南きよさと」や「～河口湖～富士山パノラマロープウェイ」など、33の調査地点では、昨年を上回る観光客が訪れ、山梨を舞台にしたテレビアニメ「ゆるキャン」の効果により増加が見られた、などの声が聞かれた施設もあった。

全体では、県内の調査対象となる観光施設・イベント(67地点)を訪れた1日当たりの観光客数は、平成29年をわずかに下回り、前年比1.8%の減少となった。

圏域別でみると、富士・東部圏域では3.9%増、峡南圏域、峡北圏域では共に0.4%増加したが、峡中圏域では10.6%の減、峡東圏域では5.9%減少した。

2 各圏域別の状況

別添資料参照

【峡中】

- ・ 峡中圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比10.6%減となった。
- ・ 「山梨県小瀬スポーツ公園」では、スタジアムの観客減少などが影響し約20%減となった。
- ・ 「風土記の丘・曾根丘陵公園」では、5月2日夕方から5月3日の雨の影響により例年開催している「こどもまつり」の来場者が伸び悩み、約24%減となった。

【峡東】

- ・ 峡東圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比5.9%減となった。
- ・ 天候の影響で「大菩薩嶺」では約25%減、また家族連れの多い「山梨県森林公園 金川の森」では約6%の減となった。

【峡南】

- ・ 峡南圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比0.4%増となり、全体では前年並であった。
- ・ 「身延山ロープウェイ」ではGW限定イベントの実施などにより約14%の増加となった。
- ・ 5月3日に開催された「南アルプス早川山菜祭り」は、雨の影響で約50%減となった。

【峡北】

- ・ 峡北圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比0.4%増となり、全体では前年並であった。
- ・ 毎年、長澤鯉のぼり祭りの開催により人気の高い「道の駅南きよさと」は、約16%増加した。
- ・ 昨年と比較して気温が高く、植物の新緑具合も進んでいたため「八ヶ岳自然ふれあいセンター」では約15%増となった。

【富士・東部】

- ・ 富士・東部圏域所在の対象施設等に係る観光客数は、1日当たり前年比3.9%増となった。
- ・ 年々知名度が高まる「北口本宮富士浅間神社」では、約5%の増となった
- ・ 「～河口湖～富士山パノラマロープウェイ」では営業時間の延長などの効果もあり約20%増となった。
- ・ 例年より開花時期が早まった「富士桜ミツバツツジまつり」ではゴールデンウィークと花の見頃が合わずに約41%減少となった。

【問い合わせ先】 観光企画課 今泉・大石

直通 055-223-1556 (内線4102、4113)